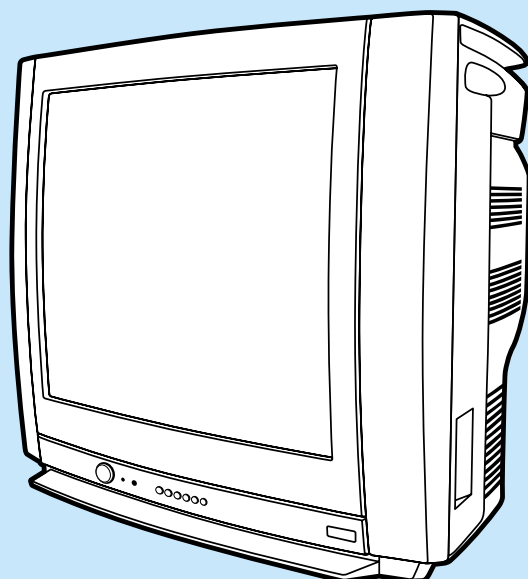


ステレオカラーテレビ

21CL-HS3形

このたびは、ステレオカラーテレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は「保証書」とともに大切に保存してください。



Hitachi Living Systems

目次

安全上のご注意……………2~6

基本の
使いかた

各部の名称……………7
 各部の名称(リモコン)……………8・9
 アンテナ線の接続……………10
 受信チャンネルの合わせかた(1)…11
 受信チャンネルの合わせかた(2)…12
 テレビをご覧になりたいとき……………13
 外部機器との接続使用……………14・15
 映像の調整と設定……………16
 音声状態の調節……………17

便利な
使いかた


現在時刻を設定するには……………18・19
 予約オフ設定をするには……………20・21
 予約オン設定をするには……………22・23
 オートオフ設定をするには……………24
 スリープ予約をするには……………25


アフター
サービス

修理を依頼される前に……………26
 仕様……………27
 保証とアフターサービス……………27
 廃棄時のご注意……………27
 ご相談窓口一覧表……………裏表紙


安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



禁止



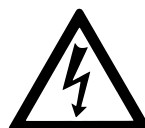
分解禁止




水場での
使用禁止



接触禁止



感電注意
高圧注意

 行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

警告

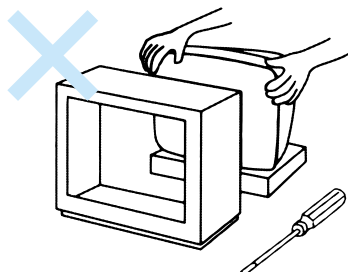


分解禁止

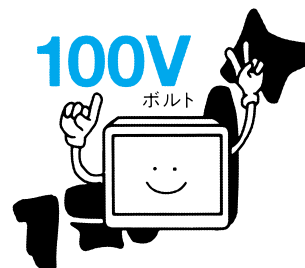
●お客様自身で、分解・修理・改造しないでください。
(感電・発火・けがの原因)



感電注意



●表示された電源電圧〈交流100V〉以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

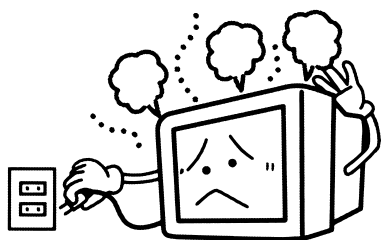


警告



電源プラグ
を抜く

- 万一、煙が出ている、変な臭いや音が出るなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

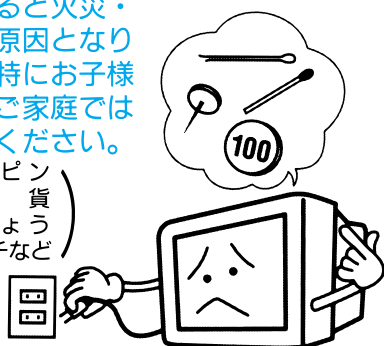


- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店に依頼してください。
- 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



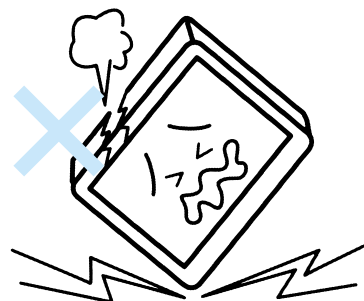
- 万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

(ヘアピン
硬貨
画びょう
マッチなど)



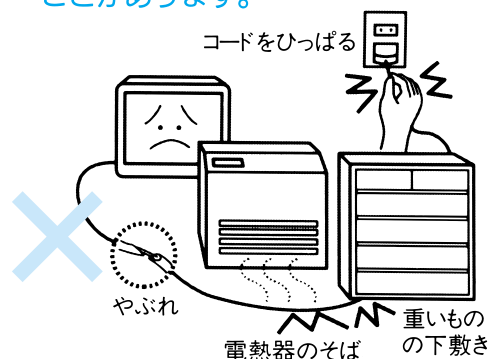
電源プラグ
を抜く

- 万一、この機器を落としたりキャビネットを破損した場合、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。コードの上を異物などで覆うことにより、それに気付かず重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



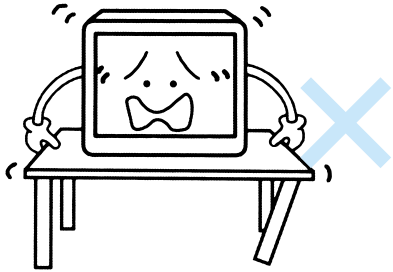
販売店に交換依頼



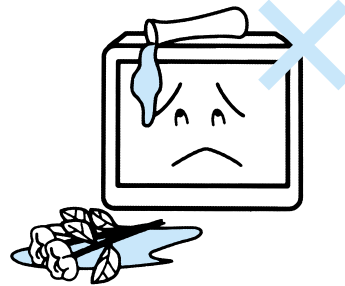
警告



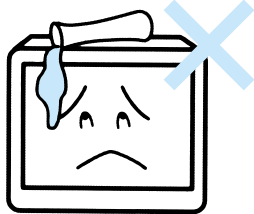
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



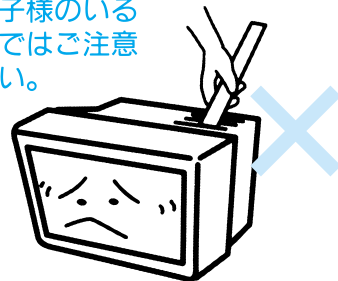
- この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品薬品や、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



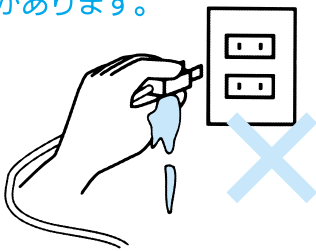
- この機器に水が入ったり、ぬれないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



- この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

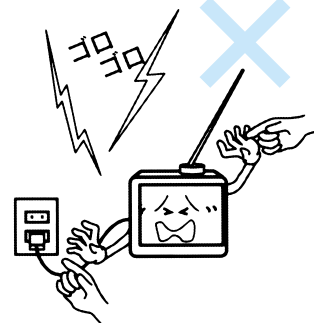


接触禁止



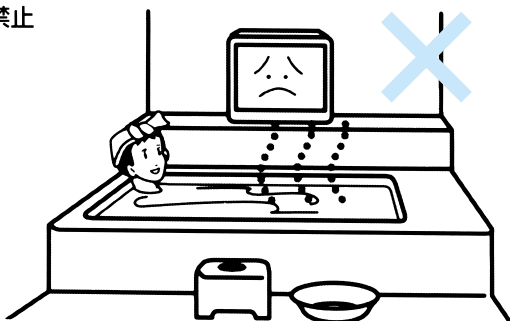
感電注意

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

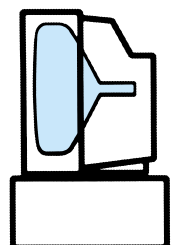


水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- ブラウン管（前面）は重いので安定したところにすえつけてください。また、転倒防止の処置を行ってください。テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。テレビは重いので移動や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。

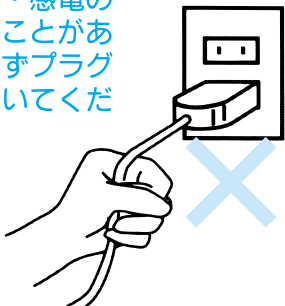


警告

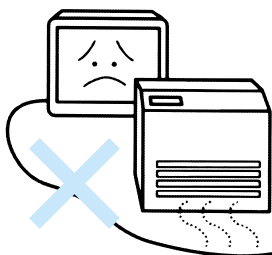


禁止

- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

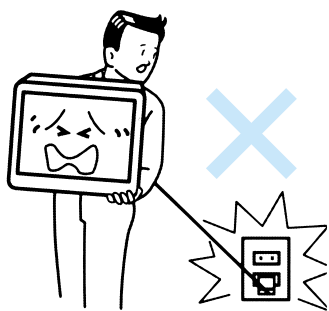


- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

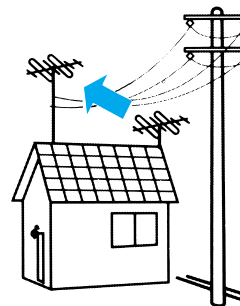


電源プラグを抜く

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コード、転倒防止具を外したことを確認の上行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

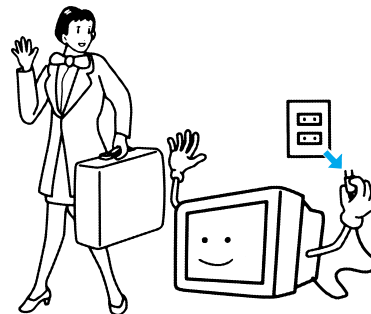


- アンテナ工事には技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。
※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。

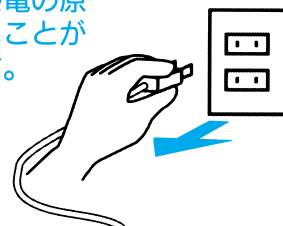


電源プラグを抜く

- 旅行などで長時間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

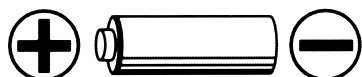


注意



注意

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、機器の表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



禁止

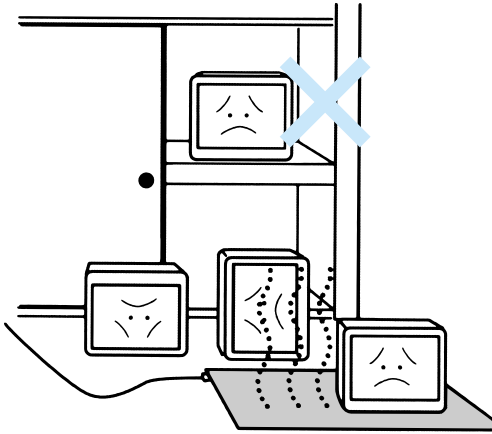
- 指定以外の電池を使用しないでください。又、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠ 注意



禁止

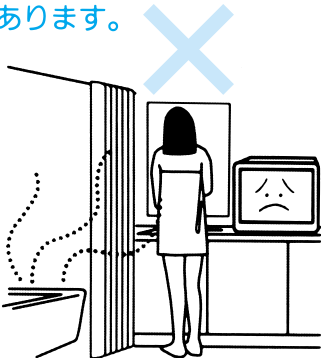
- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
- この機器を仰向けや横倒し、逆さまにする。
- 押入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。また、テレビの設置は壁から10cm以上間隔をおいてください。



- 調理台や加湿器のそばなど、油煙湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

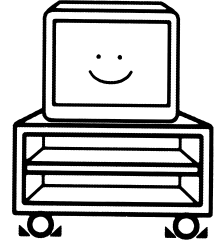


- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



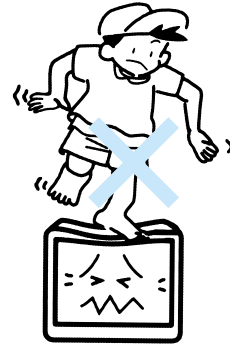
注意

- キャスター付きテレビ台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。



禁止

- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- この機器に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。この機器の内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



基本の使いかた

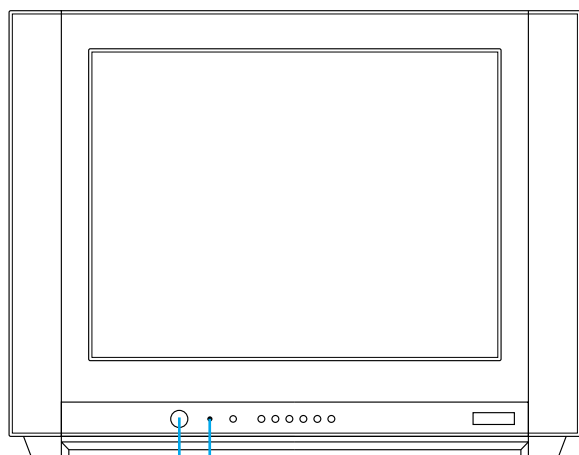
各部の名称

- リモコンと同じなまへのボタンは、リモコンと同じ働きをします。
(入力切換については、15ページをご参照ください。)

■本体

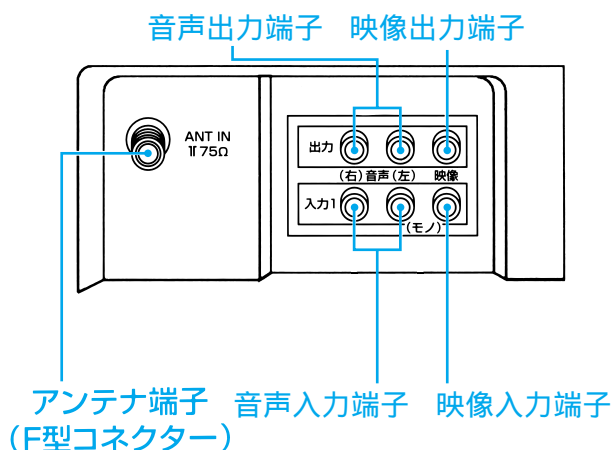
前面

- イヤホンをつなぐとスピーカーから音は出ません。

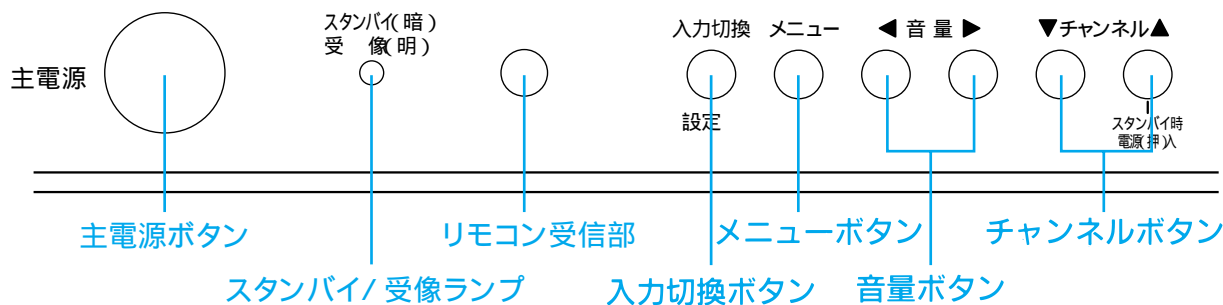
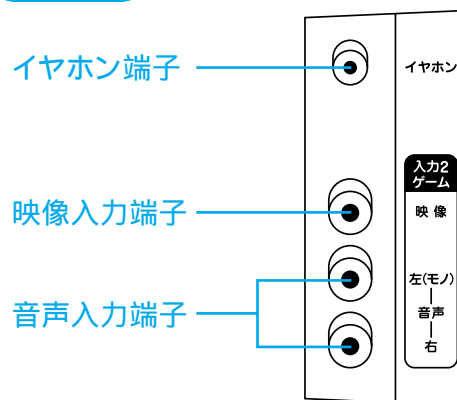


主電源ボタン
スタンバイ/受像ランプ

背面



側面 (本体に向かって右側面)



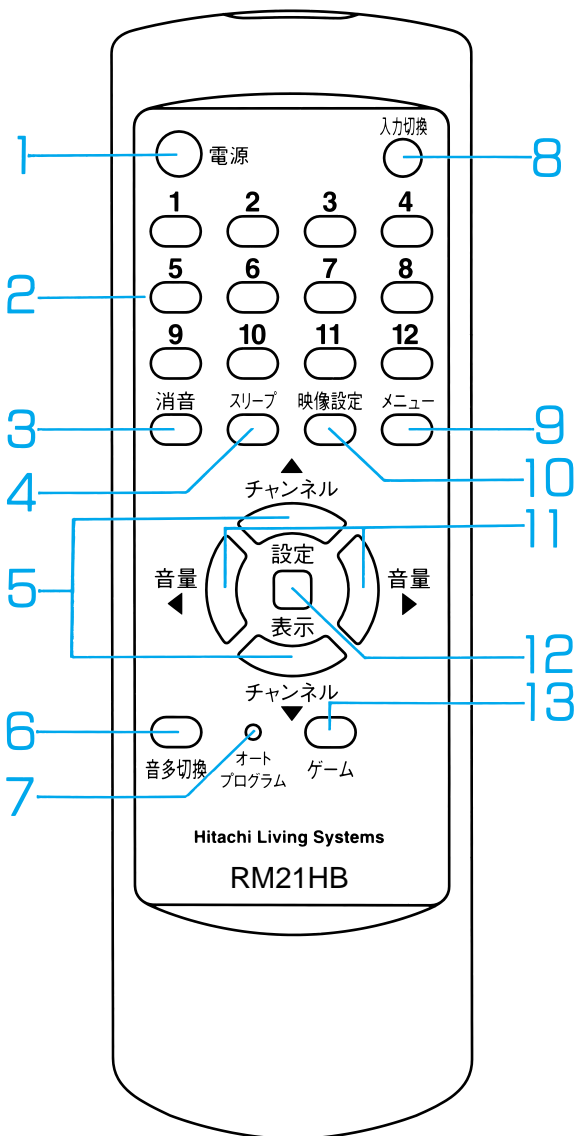
基本の使いかた

各部の名称 (リモコン)

準備

- テレビ画面のリモコン受信部に向けて押してください。

■ リモコン



1 電源ボタン

- テレビをつけたり消したりする時に使用します。

2 ダイレクトチャンネルボタン

- お好みのチャンネルを直接選択するときに使用します。

3 消音ボタン

- 音を一時的に消したいときに使用します。

4 スリープボタン

- 設定した時間が経つと自動的にオフにする機能ボタンです。

5 チャンネルボタン

- チャンネルを選択したり、画面に表示された機能を選択するときに使用します。

6 音多切換ボタン

- 主音声の他に副音声やステレオ放送を聴きたいときに使用します。
- 二重音声放送のときは主、副、主+副を選択することができ、ステレオ放送のときはステレオ、モノラルを選択することができます。

7 オートプログラムボタン

- 信号があるチャンネルを自動的に記憶させるボタンです。

8

入力切換ボタン

- テレビ/ビデオ切換ボタンです。

9

メニューボタン

- プログラムされているいろんな機能を選択するときに使用します。

10

映像設定ボタン

- 工場出荷時設定された映像状態を10段階まで選ぶことができます。

11

音量ボタン

- 音の大きさを調節するとき、またはある機能の細部調節するときに使用します。

12

【設定/表示】ボタン

- 現在見ているチャンネルを知りたいとき及び画面に表示された機能を設定するときに使用します。

13

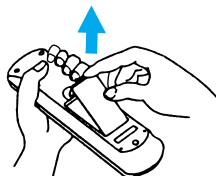
ゲームボタン

- テレビ/ゲーム切換ボタンです。
- ゲームを楽しむときゲームに合う画像状態になります。

乾電池の入れかた

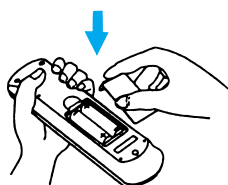
①電池ふたをはずします。

電池ふたを押して、矢印の方向にずらします。



①乾電池を入れます。

付属の単3形乾電池(2個)を⊕、⊖表示どおりに入れ、ふたをしめます。



乾電池について

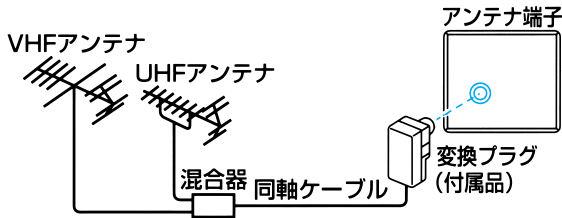
- ・乾電池の誤った使いかたは、液漏れや、破裂の危険につながりますのでご注意ください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池（例えばマンガン乾電池とアルカリ乾電池）を混ぜて使用しないでください。
- ・長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取出しておいてください。
- ・リモコンが作動しにくくなったら、乾電池を交換してください。
- ・リモコンに水やコーヒー、ジュース等の液体をかけないでください。
- ・内部に液体が入ると、故障の原因になります。直射日光が当たるところや、熱器具、発熱物の近くに置くと、火災や、故障、熱変形の原因になります。

基本の使いかた

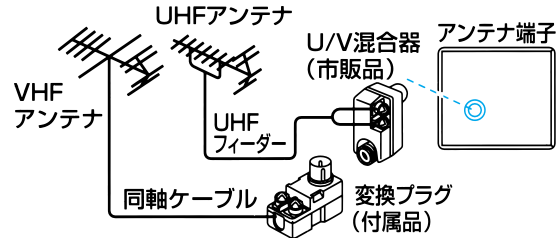
アンテナ線の接続

●アンテナ線のつなぎかたはアンテナ線の形状によって異なります。下図を参考に接続を行ってください。

●VHF/UHF混合のとき

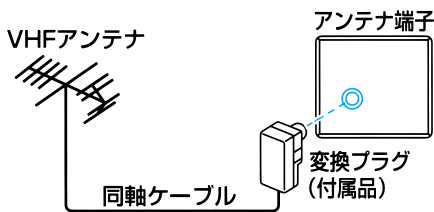


●VHF/UHFアンテナが独立しているとき

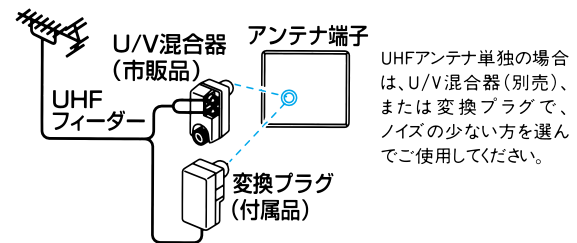


※通常のUHFアンテナ線は平行フィーダー線です。

●VHF単独アンテナのとき



●UHF単独アンテナのとき



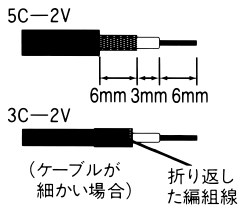
UHFアンテナ単独の場合は、U/V混合器(別売)、または変換プラグで、ノイズの少ない方を選んでご使用してください。

VHFアンテナ線の接続 (準備)

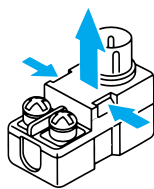
付属のアンテナアダプターを用いて接続しています。同軸ケーブル、またはVHF平行フィーダーをご使用してください。VHF(1~12チャンネル)アンテナ線の接続には、妨害の少ない同軸ケーブルでのご使用をおすすめします。

同軸ケーブルの場合

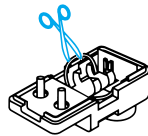
1 先端を加工します。



2 ふたをあけます。

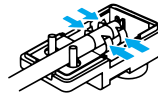


3 ビニール線を切断します。



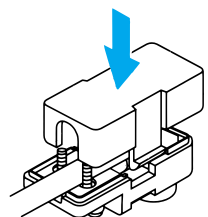
※ツメに接続されているビニール線(2本共)を切断します。

4 同軸ケーブルを取付けます。



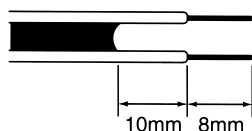
ペンチなどで金具を曲げてケーブルを固定します。

5 ふたをしめます。

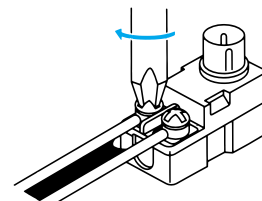


平行フィーダーの場合

1 先端を加工します。



2 ネジをゆるめ、平行フィーダーを接続します。



同軸ケーブルは外部からのノイズや強い電波による妨害が画像に混入することを防ぎ、妨害の少ない良好な画像になります。フィーダー線をご使用のときは、本機からできるだけ離してください。

受信チャンネルの合わせかた(1)

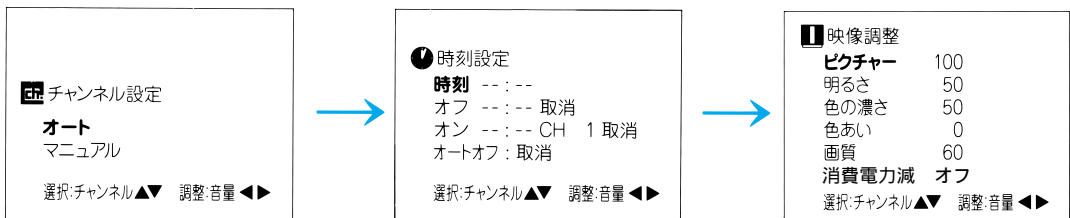
- 設定は、アンテナをつないだあとに行います。
- 必ずテレビの放送時間に設定してください。

■自動チャンネル設定

方法1

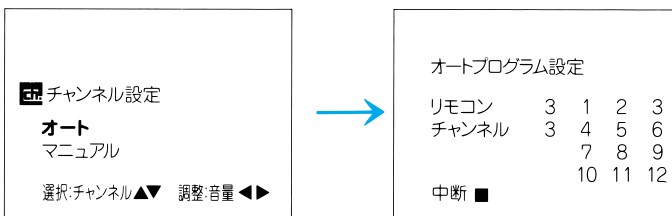
1 メニューボタンを押して「チャンネル設定」画面を選択します。

- 一回押すたびに次のような画面が出ます。
- 選択された部分は赤色で表示されます。



2 「オート」を選択します。

- 「チャンネル▲▼」で「オート」を選択して「音量◀▶」を押します。



- 「オートプログラム設定」がスタートします。設定が終ると、最も番号の若いチャンネルが映ります。
- 途中でやめるときは、「設定/表示」ボタンを押してください。

方法2

1 リモコンのオートプログラムボタンを押します。

- ボールペンなどの先の細いもので押してください。
- 「オートプログラム設定」がスタートします。
- その次は [方法1] と同じです。

オートプログラム設定				
リモコン	3	1	2	3
チャンネル	3	4	5	6
		7	8	9
		10	11	12
中断	■			

参考

- 自動チャンネル設定が終ると「チャンネル▲▼」ボタンを押して記憶されたチャンネルを確認してください。記憶された放送チャンネルだけ選局されます。
- 自動チャンネル設定は放送しているチャンネルだけ記憶され、放送していないチャンネルは記憶されません。

基本の使いかた

受信チャンネルの合わせかた(2)

●オートチャンネル設定したあと、リモコン/チャンネル/表示/スキップ/微調整の設定の変更が必要なときに行ってください。

■マニュアルチャンネル設定

11ページの手順2で「マニュアル」を選びます。選択した[項目]が赤色になり[音量◀▶]で設定を変更することができます。

例)リモコン番号6にUHFの36チャンネルを設定する場合

1 リモコン番号 リモコン番号を選択します。

- 1~20の20ヶ所があり、「チャンネル▲▼」で[リモコン]に合わせてから「音量◀▶」で選択します。右サイドの数字が点滅します。この場合は「6」を選択します。

マニュアルチャンネル設定			
リモコン	1	2	3
チャンネル	1	4	5
表示	1	7	8
スキップ	オフ	10	11
微調整	0		

選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶



マニュアルチャンネル設定			
リモコン	6	1	2
チャンネル	6	4	5
表示	6	7	8
スキップ	オフ	10	11
微調整	0		

選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

- リモコン番号の1~12はダイレクトチャンネルボタンで選択できます。
- リモコン番号に“()”表示される13~20は「チャンネル▲▼」で選択します。

2 チャンネル 放送局のチャンネル番号を選択します。

- 「チャンネル▲▼」で[チャンネル]に合わせてから「音量◀▶」で選択します。この場合は「36」を選択します。

→VHF1~12 ↔ UHF13~62 ↔ CATV C13~C38 ←

マニュアルチャンネル設定			
リモコン	6	1	2
チャンネル	36	4	5
表示	6	7	8
スキップ	オフ	10	11
微調整	0		

選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

3 表示 画面表示したい番号を選択します。

- 「チャンネル▲▼」で[表示]に合わせてから「音量◀▶」を選択します。この場合は「36」を選択します。

マニュアルチャンネル設定			
リモコン	6	1	2
チャンネル	36	4	5
表示	36	7	8
スキップ	オフ	10	11
微調整	0		

選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

4 スキップ 「音量◀▶」で選局する、しないを設定することができます。

「チャンネル▲▼」で[スキップ]に合わせてから「音量◀▶」で[オン]または[オフ]に設定します。

スキップ [オン]:「チャンネル▲▼」で選局しません。

スキップ [オフ]:「チャンネル▲▼」で選局できます。

- スキップ [オフ] に設定すると、選局時のCH表示の色が青→緑になります。

マニュアルチャンネル設定			
リモコン	6	1	2
チャンネル	36	4	5
表示	36	7	8
スキップ	オフ	10	11
微調整	0		

選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

5 微調整 地域により放送の周波数にズレが生じている場合は、お試しください。(通常は必要ありません)

「チャンネル▲▼」で[微調整]に合わせてから「音量◀▶」で調整します。

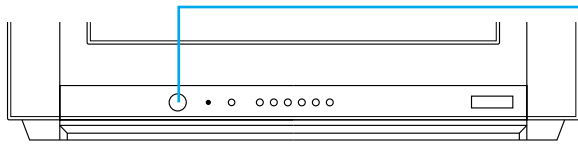
- ±50段階の調整できます。

マニュアルチャンネル設定			
リモコン	6	1	2
チャンネル	36	4	5
表示	36	7	8
スキップ	オフ	10	11
微調整	+10		

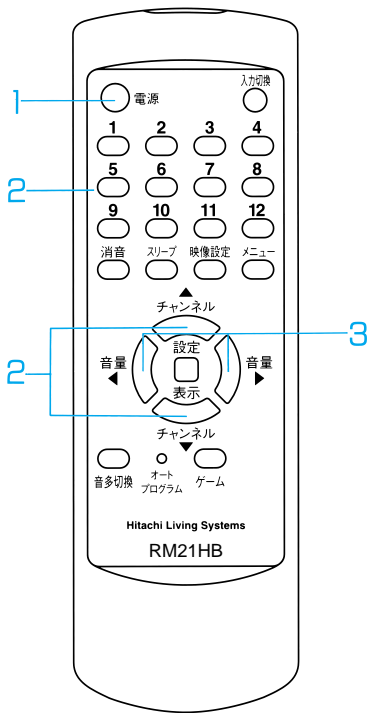
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

テレビをご覧になりたいとき

- まずアンテナと電源コードを正しくつないでください。
ケーブルTVは、CATV供給会社と契約しないと、視聴できません。
また、CATV供給会社により、一部のチャンネルが視聴できない場合があります。
ケーブルTVについては、お住まいの地域のCATV供給会社にお問い合わせください。



準備 本体のスタンバイ/受像ランプが消えていると、リモコンでは電源が入りません。まず本体の主電源スイッチを押して下さい。



1 電源ボタンを押します。

音声多重状態の表示。
チャンネルの番号が3秒ほど表示されます。

- 電源ボタンを押すとスタンバイ/受像ランプが明るく点灯します。

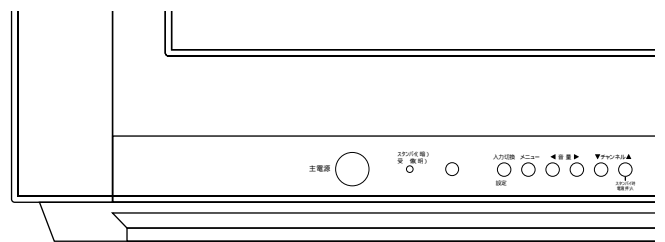
2 見たい放送局を選びます。「チャンネル()」またはダイレクトボタン(1~12)を押してチャンネルを選択します。13~20は「チャンネル()」で選択します。

3 音量を調節します。「音量」ボタンを押すと音と数字が大きくなり、「音量」ボタンを押すと音と数字が小さくなります。



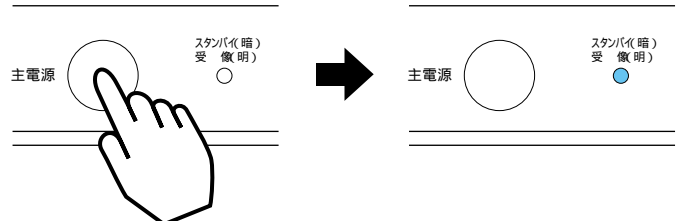
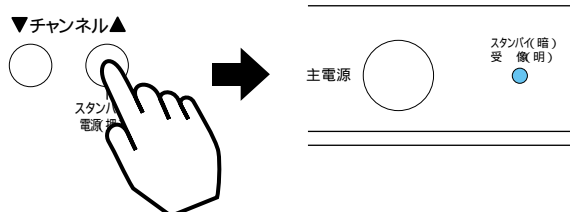
■ 本体で電源を入れるには

お手近にリモコンがないときは、本体での操作もできます。



スタンバイ/受像ランプが暗く点灯している場合はチャンネル ボタンを押すと電源が入り、スタンバイ/受像ランプが明るく点灯します。電源を切るときは、もう一度主電源ボタンを押します。

スタンバイ/受像ランプが明るく点灯しているときに主電源ボタンを切にした場合、次に主電源ボタンを入にすると、電源が入りスタンバイ/受像ランプが明るく点灯します。



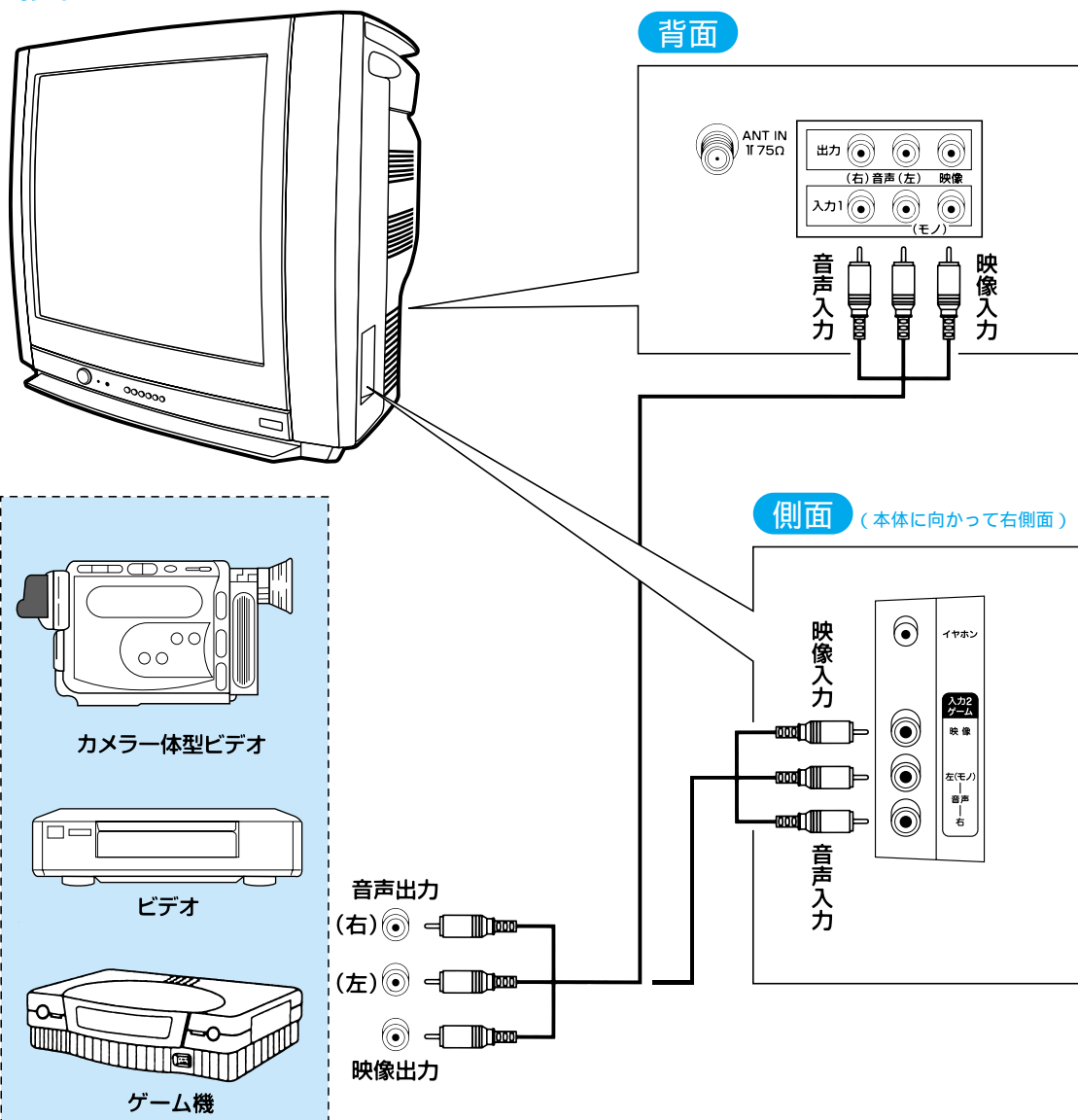
基本の使いかた

外部機器との接続使用

●テレビにある入、出力端子を利用して他の製品と接続して使用して下さい。

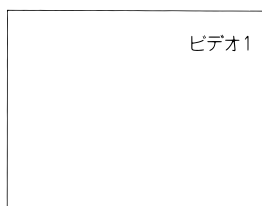
■ビデオなど外部機器との接続方法と視聴方法

1 接続方法



- ビデオカメラで撮影したものをテレビで見るとき前面入力端子に接続すると便利です。
- ゲーム機を使用するときは前面入力端子に接続すると、ゲームモードも利用でき便利です。
- ビデオ機器の映像出力、音声出力端子とテレビの映像入力、音声入力端子と接続します。

2 入力切換ボタンを押して「ビデオ1」または「ビデオ2」を選んでください。



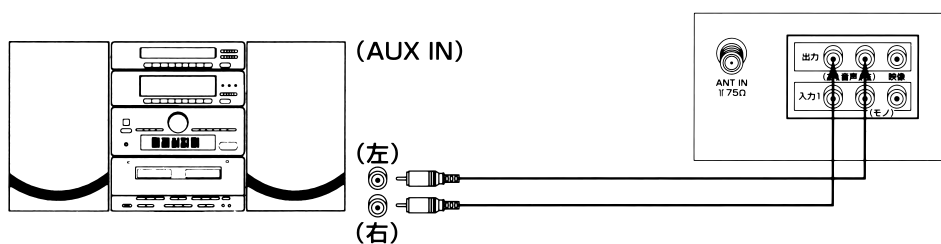
- テレビ本体の入力切換ボタンは押すたびに、
→「ビデオ1」→「ビデオ2」→「ゲーム」→「テレビ」に切替ります。
- リモコンの入力切換ボタンは押すたびに、
→「ビデオ1」→「ビデオ2」→「テレビ」に切替ります。

3 外部機器を動作させてください。

- [入力1] (本体背面) につないだ映像を見る場合は「ビデオ1」を選択してください。
- [入力2] (本体前面) につないだ映像を見る場合は「ビデオ2」を選択してください。

■オーディオとの接続

- 映像はテレビから音声はオーディオから聞きたいとき接続します。
- オーディオの外部入力端子とテレビの音声出力端子と接続します。



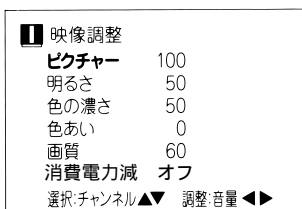
※AVコードについては、市販の接続コードをご使用ください。

基本の使いかた

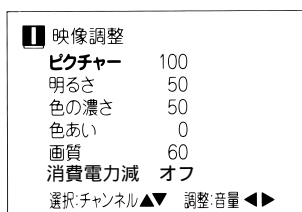
映像の調整と設定

■映像調整

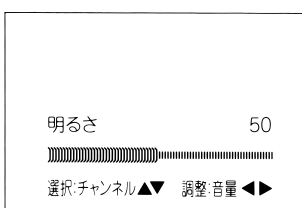
1 メニューボタンを押して「映像調整」画面を選択します。



2 「チャンネル▲▼」ボタンを押して調整したい項目を選びます。



3 「音量◀▶」ボタンで、画面を見ながら調整します。



「消費電力減」は、画面の明るさを自動的に下げることによって消費電力を少なくする機能です。

「音量◀▶」ボタンを押すごとに「オン」 ↔ 「オフ」が切替ります。オンを選択すれば「消費電力減」が作動され、オフの場合は作動しません。

■映像設定

1 映像設定ボタンを押します。

- 左記の「映像調整」をすると「映像設定」はオフ状態になります。
- 映像設定 オフの場合には映像設定ボタンをもう一度押ししてください。



2 「音量◀▶」ボタンを押して、好ましい画像を選びます。

- ピクチャーのレベルに合わせて色の濃さなどが連動して調整できます。

3 「設定/表示」ボタンを押します。

参考

- ボタンを押して約10秒以内に操作が行われない場合メニュー画面が消えます。
- 「映像調整」が選択された状態で「チャンネル▲▼」ボタンを押して他の映像項目を選択することができます。
- 「色あい」状態で「音量▶」ボタンを押すと緑色が濃くなり、「音量◀」ボタンを押すと赤色が濃くなります。

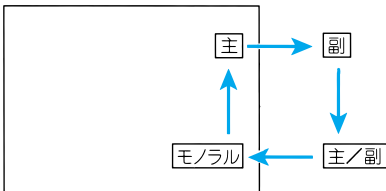
音声状態の調節

- 二重音声放送およびステレオ放送時は、2ヵ国語（二重）音声、ステレオ音声をお楽しみいただけます。

■音声多重機能

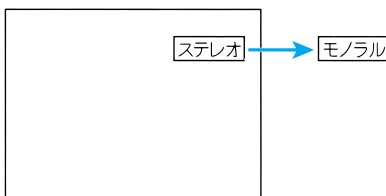
1 音多切換ボタンを押します。

- 2ヵ国語放送受信時



- 「主」状態：左・右スピーカーで主音声(日本語など)。
- 「主/副」状態：主音声と副音声(英語など)が同時に。
- 「副」状態：左・右スピーカーで副音声。

- ステレオ放送のとき



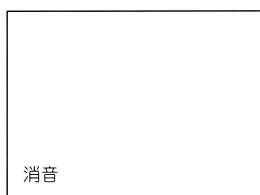
- 「ステレオ」状態：左・右スピーカーでステレオ音声が出ます。
- 「モノラル」状態：ステレオ放送で雑音が入るときモノラル音声に切り換わり聞きやすくなります。

参考

- 受信状態が不良な弱電界の地域や音声多重放送が受信されない地域ではモノラルを選択して使用して下さい。

■消音

1 消音ボタンを押します。



- スピーカーから音は出ません。
- 音を一時的に消したいときに消音ボタンを押します。もとの音量に戻すときは、もう一度消音ボタンまたは音量ボタンを押します。

便利な使いかた

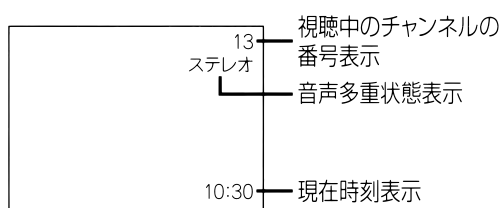
現在時刻を設定するには

ご注意

現在時刻の設定後、主電源をオフにしたり停電や電源コードが抜けたときは現在時刻が消されてしまいますので再び設定し直してください。

■現在時刻が午前10時30分の場合

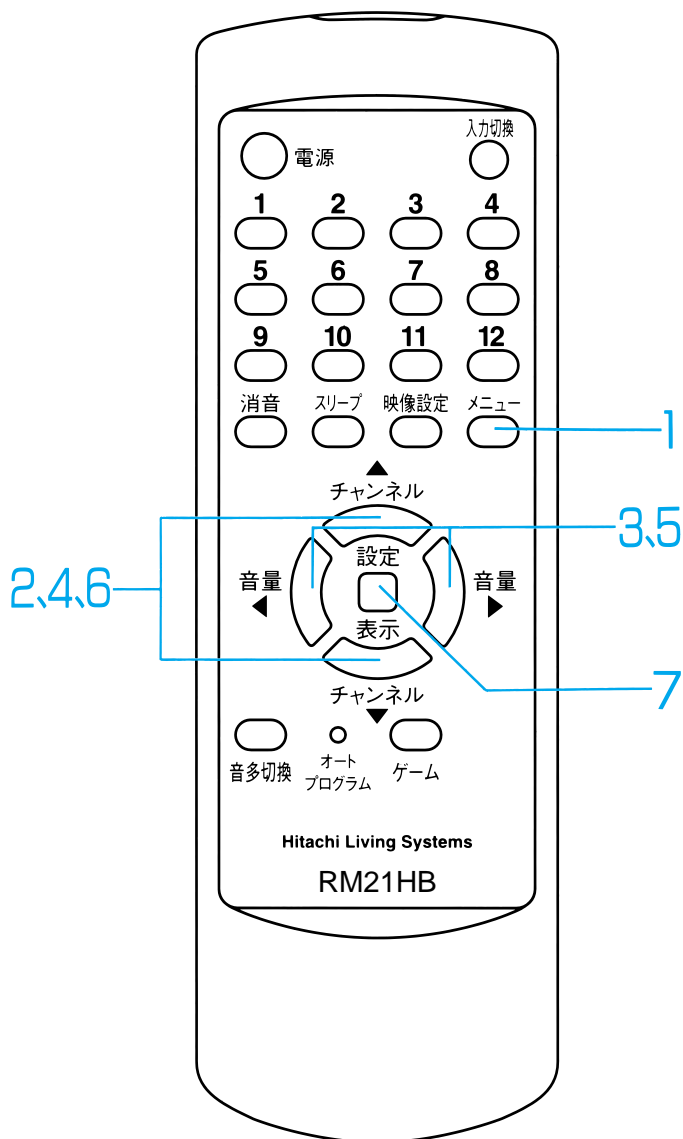
視聴中のチャンネル、現在時刻、音声多重状態を確認するには「設定/表示」ボタンを押します。



●解除する時は「設定/表示」ボタンをもう一度押します。

参考

- 現在時刻の表示は視聴者が現在時刻を設定しないと表示されません。
- 音声多重状態表示は放送局でステレオ及び副音声放送の時だけ画面表示が表示されます。
- 上のような画面表示は約3秒後に消えます。



1 「メニュー」ボタンを押して「時刻設定」画面を選択します。

●時刻設定
時刻 ---:--
オフ ---:-- 取消
オン ---:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

2 「チャンネル▲▼」を押し、時刻を選びます。

●時刻設定
時刻 ---:--
オフ ---:-- 取消
オン ---:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

3 「音量◀▶」を押し、[時]の項目を点滅させます。

●時刻設定
時刻 ---:--
オフ +:-- 取消
オン ---:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

4 「チャンネル▲▼」を押し、「時」を合わせます。

●時刻設定
時刻 10:00
オフ +:-- 取消
オン ---:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

5 「音量◀▶」を押し、[分]の項目を点滅させます。

●時刻設定
時刻 10:00
オフ -:-- 取消
オン ---:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

6 「チャンネル▲▼」を押し、[分]を合わせます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ -:-- 取消
オン ---:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

7 「設定/表示」を押します。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ --:-- 取消
オン ---:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

- 「設定/表示」ボタンを押す時点から時間が進行します。
- 「設定/表示」ボタンをもう一度押すと画面表示が消えます。

参考

- 設定を間違えたときは再度時刻合わせをしてください。
- 設定は何もボタンを押さないのでおくと、約10秒後メニュー画面が消えます。
- 未設定の部分があると、設定は無効になります。

便利な使いかた

予約オフ設定をするには

- 予約機能は現在時刻が設定された状態で正常に動作します。
- 予約オフとオンの時刻を同じ時刻で設定するとオフ機能が優先させます。

■午後11時20分にオフにしたい場合。

1 「メニュー」ボタンを押して「時刻設定」画面を選択します。

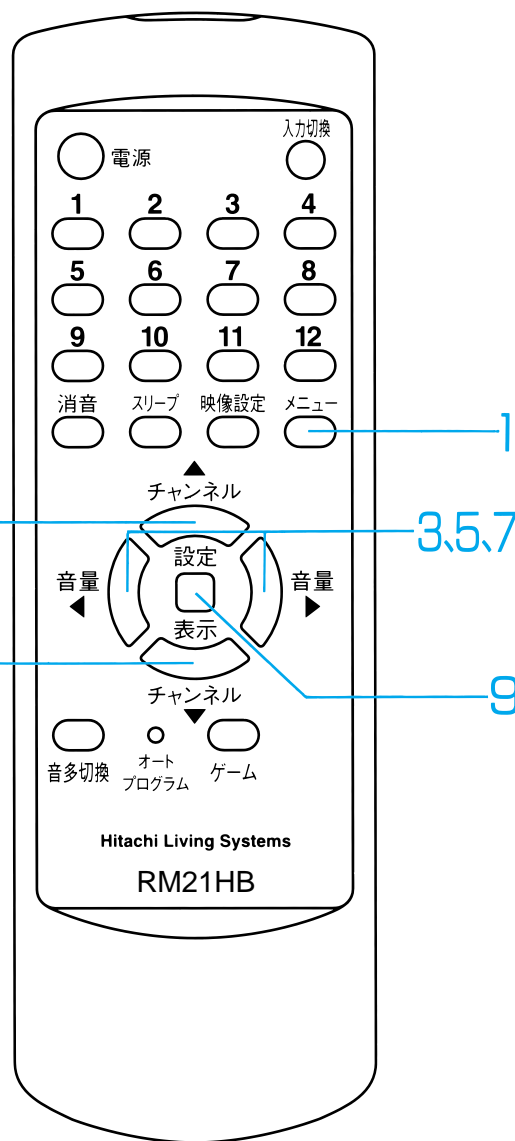
●時刻設定
 時刻 10:30
 オフ --:-- 取消
 オン --:-- CH 1 取消
 オートオフ: 取消
 選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

2 「チャンネル▲▼」を押し、「オフ」を選びます。

●時刻設定
 時刻 10:30
 オフ --:-- 取消
 オン --:-- CH 1 取消
 オートオフ: 取消
 選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

3 「音量◀▶」を押し、[時]の項目を点滅させます。

●時刻設定
 時刻 10:30
 オフ --:-- 取消
 オン --:-- CH 1 取消
 オートオフ: 取消
 選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶



4 「チャンネル▲▼」を押し、「時」を合わせます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:-- 予約
オン ++:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

5 「音量◀▶」を押し、[分]の項目を点滅させます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:00 予約
オン --:--+ CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

6 「チャンネル▲▼」を押し、「分」を合わせます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン --:--+ CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

7 「音量◀▶」を押し、「予約/取消」の項目を点滅させます。

8 「チャンネル▲▼」を押し、「予約」を選びます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン --:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

- 「チャンネル▲▼」ボタンを押すごとに
予約 ◀▶ 取消
が選択されます。

- 解除する時は「取消」を選びます。

9 「設定/表示」ボタンを押します。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン --:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

- 設定が完了しました。
- 「設定/表示」ボタンをもう一度押すと画面表示が消えます。

便利な使いかた

予約オン設定について

●予約機能は現在時刻が設定されていないと設定できません。

■午前7時10分に8チャンネルをオンにしたい場合。

1 「メニュー」ボタンを押して
「時刻設定」画面を選択します。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン ---:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

2 「チャンネル▲▼」を押し、
「オン」を選びます。

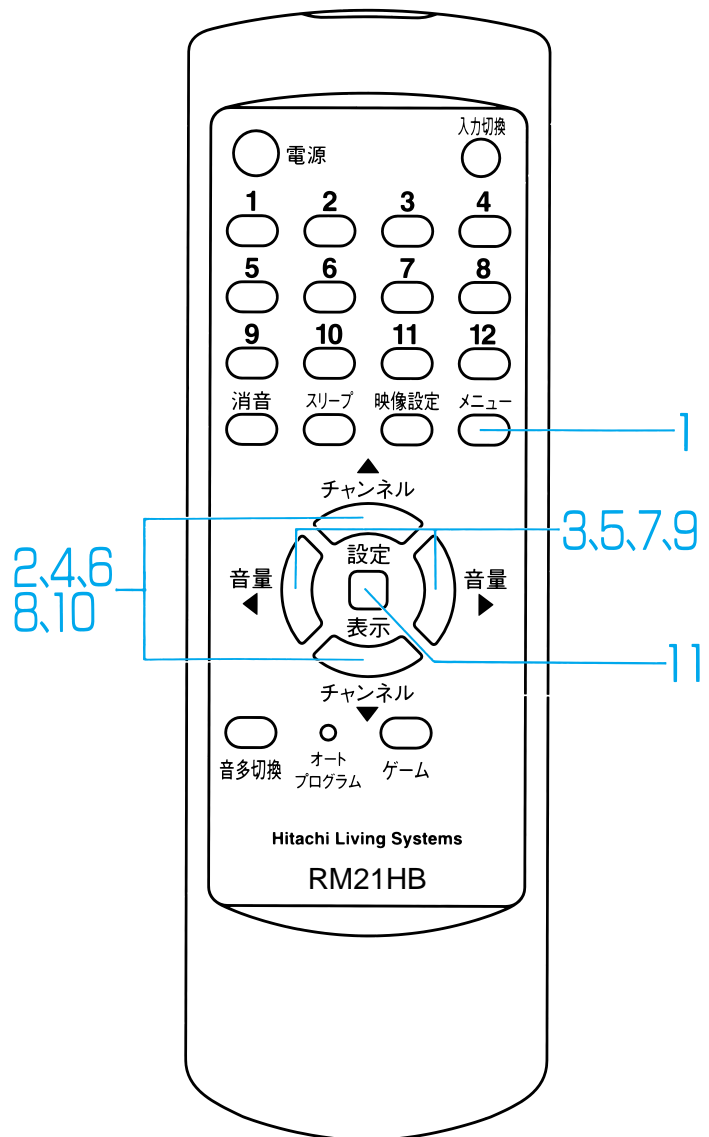
●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン ---:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

3 「音量▶」を押し、[時]の
項目を点滅させます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン --:-- CH 1 取消
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

4 「チャンネル▲▼」を押し、
[時]を合わせます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン 7:-- CH 1 予約
オートオフ:取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶



5 「音量▶または」を押し、 [分]の項目を点滅させます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン 7:00 CH 1 予約
オートオフ: 取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

6 「チャンネル▲▼」を押し、 [分]を合わせます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン 7:10 CH 1 予約
オートオフ: 取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

7 「音量◀▶」を押し、[CH]の 項目を点滅させます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン 7:10 CH 1 予約
オートオフ: 取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

8 「チャンネル▲▼」を押し、 [CH]を合わせます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン 7:10 CH 8 予約
オートオフ: 取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

9 「音量▶」を押します。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン 7:10 CH 8 予約
オートオフ: 取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

10 「チャンネル▲▼」を押し、 「予約」を選びます。

●時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン 7:10 CH 8 予約
オートオフ: 取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

●解除する時は取消を選んでください。

11 「設定/表示」ボタンを押します。

- 設定が完了しました。
- 「設定/表示」ボタンをもう一度押すと画面表示が消えます。

参考

- オンタイマーの安全機能
オンタイマーの設定によって電源が入った場合は約2時間以内にボタン操作をしないと、自動的に電源が切れます。

基本の使いかた

オートオフ設定をするには

●下記設定を行うと放送終了後、又は信号がない場合、約10分後に電源が切れます。

1 メニューボタンを押します。

時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン 7:00 CH 1 予約
オートオフ: 取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

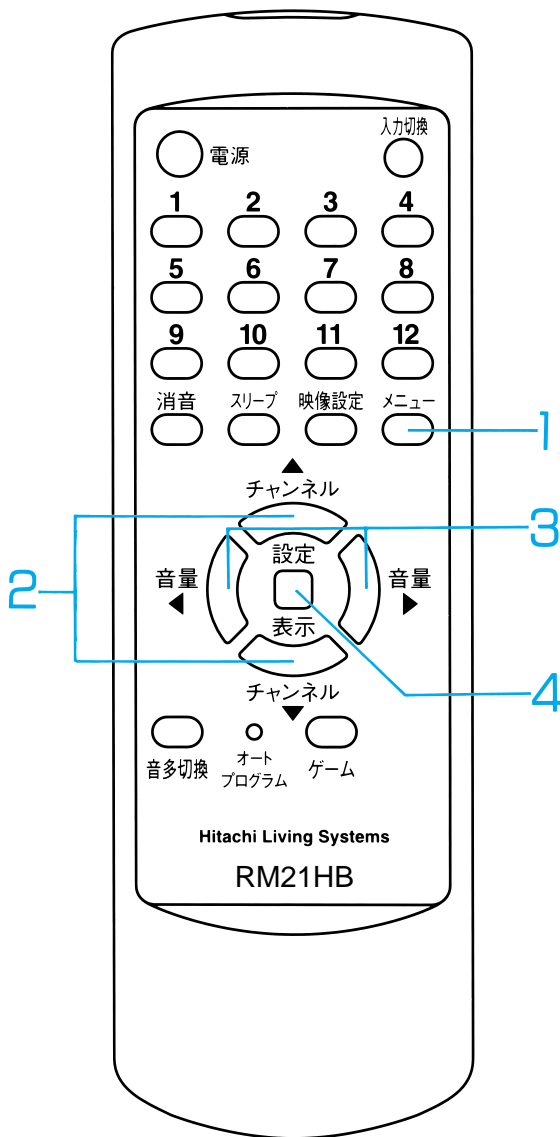
2 「チャンネル▲▼」を押し、「オートオフ」を選びます。

時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン 7:00 CH 1 予約
オートオフ: 取消
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

3 「音量◀▶」ボタンを押して「設定」を選びます。

時刻設定
時刻 10:30
オフ 23:20 予約
オン 7:00 CH 1 予約
オートオフ: 設定
選択:チャンネル▲▼ 調整:音量◀▶

4 「設定/表示」ボタンを押します。

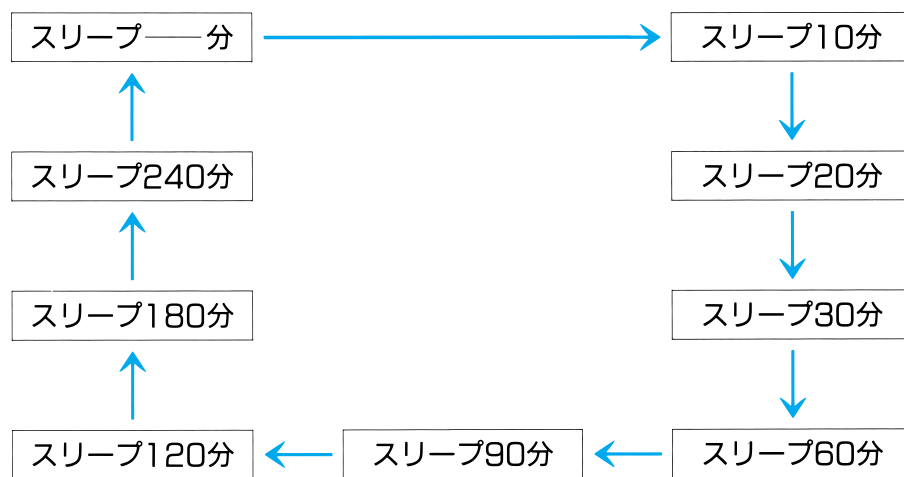


スリープ予約をするには

- 指定された時間後自動的にオフする機能です。
- 最高240分まで希望する時間を設定しておく、その時間が経った後テレビが自動的にオフになりますので眠る時間に合わせてお使いください。

1 スリープボタンを何回か押して希望する時間を選択してください。

- 一回ずつ押すごとに次のように選択されます。



- スリープ予約を取消するにはスリープボタンを押して「スリープ—分」が現われるようにしてください。

参考

- 画面に希望する時間が表示されているときスリープボタンを押さずに約3秒以上待つと画面表示が消えて、スリープ予約時間が設定されます。
- スリープ予約設定後に残っているスリープ予約時間を確認するにはスリープボタンを一回押します。
- スリープ予約の設定時間を変更させるには、画面表示が消える前にスリープボタンを押すと予約時間を短縮又は延長させることができます。
- スリープ予約設定した状態で電源を切るとスリープ予約設定は解除されますので、また設定し直してください。

アフターサービス

修理を依頼される前に

- 電源コードがはずれていたり、アンテナ線がはずれていたりするとテレビの故障とまちがえることがあります。販売店に連絡する前に下記のことをお確かめください。

症状	チェック項目
画像や音声が出ないとき	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードがはずれたり、電源スイッチが切れていませんか。 ・明るさや音量が正しく調節されていますか。 ・チャンネルが正しく調節されていますか。 ・アンテナがはずれたり、断線していませんか。
画面の一部に色ムラが出る	<ul style="list-style-type: none"> ・画像調節で画像を明るく設定すると、絵柄により画面の一部に色ムラが出ることがありますが、短時間でもとにもどります。 (故障ではありません) この場合、画像を少し暗くすると色ムラは出にくくなります。
色あいが悪い、色が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・色あい、色の濃さやチャンネルが正しく調節されていますか。
画像が二重、三重になる (ゴースト)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナの向きが変わっていませんか。山やビル、樹木からの反射電波の影響も考えられます。
雪が降っているような画像になる (スノーノイズ) 画像がゆれる	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナの向きが変わっていたり、アンテナ線がはずれたりしていませんか。 ・アンテナの劣化や破損による感度の低下も考えられます。
画面にはん点が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車、電車、ネオンサイン、高圧線などからの妨害電波を受けていませんか。
「ビシッ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房などの室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。
ラジオに雑音はいる	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの近くでラジオなどを使用しますと、雑音はいる場合があります。テレビより離してご使用ください。
お調べの結果、それでも具合が悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。	

お手入れ



- ケースなどの汚れは、乾いたやわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた食器用中性洗剤少量をやわらかい布に浸して、よくしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとるときれいになります。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対にふかないでください。

仕様

- 本仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。
このテレビを使用できるのは日本国内のみで外国では使用できません。
This set can be used only in Japan.

形名	21CL-HS3		
消費電力	W(待機時 W) 年間消費電力量(kW・h/年)	電源	AC100V
重量	22.0kg	受信チャンネル	VHF 1~12CH、UHF 13~62CH CATV 13~38CH
使用ブラウン管	90度偏向 カラーブラウン管	端子	イヤホン 1個、映像 / 音声入力端子 2個 映像 / 音声出力端子 1個
スピーカー	50×90(mm) 2個	付属品	保証書 1枚
音声出力	3W+3W		取扱説明書 1冊
外形寸法(mm) (幅)×(高さ)×(奥行き)	585×459×478		乾電池(単3) 2個
			リモコン 1個
			変換プラグ 1個

年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

保証とアフターサービス

①保証書

この商品は保証書付きです。保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

②保証期間

保証期間は、お買い上げから1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

③修理を依頼される時

- ・保証期間中のとき…製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店または、サービスステーション、サービスセンター（裏表紙の「ご相談窓口一覧表」をご参照ください）へ修理を依頼してください。
- ・保証期間が過ぎているとき…保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

④補修用性能部品の保有期間について

当社は、この製品の補修用性能部品の製造打切後最低8年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

⑤アフターサービスについて

ご不明な点は、お買い上げの販売店または、裏表紙の「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問合わせください。

廃棄時のご注意

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検



長年ご使用のテレビの点検を！

長年ご使用のカラーテレビは使用上、支障がなくても熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性をそこなって事故につながることもあります。安全のため点検をお願いします。

このような症状はありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 焦げくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像がかけて映る。
- 映像が時々消えることがある。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常、故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため
スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL ☎ 0120 - 3121 - 68
FAX ☎ 0120 - 3121 - 87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL ☎ 0120 - 8802 - 28
FAX 03 - 3260 - 9739

*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011 - 833 - 5088	札幌市白石区東札幌2条4 - 1 - 10
東北地区	022 - 232 - 5088	仙台市宮城野区扇町1 - 1 - 45
関東・甲信越地区	03 - 3834 - 8588	台東区東上野2 - 7 - 5(日立家電上野ビル)
中部地区	052 - 795 - 5088	名古屋市守山区川宮町55(日立家電守山ビル)
関西地区	078 - 431 - 5088	神戸市東灘区甲南町1 - 3 - 8
中国地区	082 - 231 - 5088	広島市西区観音新町1 - 7 - 17
四国地区	0877 - 47 - 1088	坂出市林田町4285 - 143
九州・沖縄地区	092 - 281 - 5088	福岡市博多区店屋町7 - 18(博多渡辺ビル)

ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 アクロポリス東京
TEL (03)3260-9611

Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。